

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 8月14日 更新

事務事業名		菊池広域連合消防本部運営事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり				所属部	総務部	課長名	中村誓丞		
	施策	1	危機管理・防災対策の推進				所属課	総務課	担当者名	山隈和徳		
	基本事業	1	災害の未然防止対策				所属班	交通防災班	(内線)	1213		
予算科目		会計一般	款9	項1	目1	事業連番10005	法令根拠	菊池広域連合規約			成果優先度評価結果	⑧
									コスト削減優先度評価結果			⑥
終了、開始年度		☐ 25年度で終了 ☐ 25年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 22 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	菊池広域連合消防本部に対し、活動負担金を支出する事務である。 平成16年度に消防組合と菊池広域の消防署が合併し、菊池広域連合が誕生し、4市町(菊池市、合志市、菊陽町、大津町)で運営をしている。 平成16年度に合併し広域化を行ったので、広域連合管内の人口が増加した。また、更なる消防の広域合併の動きがある。
【業務の流れ】	・負担金の支払い事務
【主な予算費目】	・広域連合消防組合負担金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・特に聞いているいない

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO) 管内2市2町による運営負担金により、本組織の円滑な運営を支援した。		26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・負担金の支払(分割) ・投資的経費負担(西署・高規格救急自動車、南署・化学消防ポンプ自動車等の購入)	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ア:負担金支払回数	回	使用料・手数料、県負担金の減	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
・菊池広域連合消防本部		→ア:消防本部数	箇所
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
・円滑に運営することができる。		→ア:年間主要事業の達成率	%
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠			総トータルコスト全体計画～年度
・菊池広域連合消防本部運営事業の負担金であり、成果指標の菊池広域連合消防本部の年間主要事業の達成率とした。			0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	23年度実績(決算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	27年度予定	28年度見込	29年度見込
①活動指標	ア回		4	3	4	4	4	4	4	4
②対象指標	ア箇所		1	1	1	1	1	1	1	1
③成果指標	ア%		100	100	100	100	100	100	100	100
投資事業費入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	453,952	484,622	459,560	459,560	451,162	475,000	475,000
	(A)事業費計	(A)事業費計	千円	453,952	484,622	459,560	459,560	451,162	475,000	475,000
		(A)のうち指定経費	千円	453,952	484,622	459,560	459,560	451,162	475,000	475,000
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	282	325	284	278	284	284	284
	トータルコスト(A)+(B)		千円	454,234	484,947	459,844	459,838	451,446	475,284	475,284

事務事業名	菊池広域連合消防本部運営事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は25年度的事後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 ・負担金を納入し円滑に運営することができる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 ・成果は毎年満たされているが、継続して取り組む必要がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似の事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・広域連合で計画的に策定された負担金の額であり、削減できない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・主に、負担金支払だけの事務を行っており、削減の余地がない
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ・常備消防力の強化は、市全体に関わることであり、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 ・消防行政を目的として関係市町で設置した一部事務組合であり、適正である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

・請求に対して予算どおり執行できた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)			
成果		コスト					
		削減	維持	増加			
		向上					
		維持	○				
		低下					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 なし							